

【研修名】

実践から学ぶ！パーソン・センタード・ケア

～権利擁護の視点を排泄ケア場面から考えよう～

【講師】

横須賀老人ホーム 所長 佐野芳彦（神奈川県認知症介護指導者）

主任介護員 宮崎和久（神奈川県認知症介護指導者

・尊厳を守るケア検討委員会委員長）

横須賀老人ホーム尊厳を守るケア検討委員会一同

【研修の流れ】

内容		担当	時間
1. 講師紹介・施設紹介		佐野芳彦（神奈川県認知症介護指導者） 宮崎和久（神奈川県認知症介護指導者）	5分
2. 基礎知識の確認	・身体拘束の歴史 ・倫理観ジレンマ ・日常倫理・パーソンセンタードケア	佐野芳彦（神奈川県認知症介護指導者）	15分
3. 実践事例①	便秘解消に伴うBPSD軽減 ～理論に基づいた実践～	佐野芳彦 （神奈川県認知症介護指導者）	15分
4. 実践事例②	リハビリパンツから布パンツへ ～アセスメントに基づいた実践～	宮崎和久 （神奈川県認知症介護指導者）	20分
5. 尊厳を守るケア検討委員会の取り組み	・スピーチロックゼロ作戦等	佐野芳彦（神奈川県認知症介護指導者）	5分
6. 実践事例③	安心してトイレで ～トイレが頻回なAさんへの取り組み～	林友絵 副介護長 （認知症介護実践リーダー研修修了）	10分
7. 実践事例④	尿意のサインを見逃すな！～定時誘導撤廃しよう！～	松浦裕太 介護員 （認知症介護実践者研修修了）	10分
8. 実践事例⑤	トイレでスッキリ排便がしたい	遠藤まき子 副介護長 （認知症介護実践者研修修了）	10分
9. 対応に困っている事例⑥	頻尿・残尿感があり、転倒を繰り返されるAさん	高橋駿太郎 介護員 （認知症介護実践者研修修了）	10分
10. まとめ	認知症の人の排泄ケアの実践のポイント	佐野芳彦（神奈川県認知症介護指導者） 宮崎和久（神奈川県認知症介護指導者）	15分

※流れに関しては案であり、最終調整段階で変更の可能性あり